

おすすめ書籍紹介

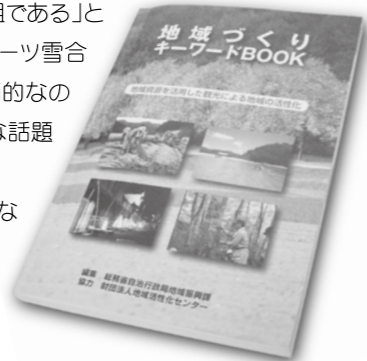
まだまだ森は生い茂ります。その一部をご紹介します。書籍の森

『地域づくり キーワード BOOK』

街づくりとは何か?地域活性化とはなにか?古くて新しいテーマである。

この本は、その難しいテーマに対する全国の取り組みが載っている。市町村の地域活性化事業が淡々と掲載されているのだが写真も多く、内容はキーワード別、地域別に分かれていてわかりやすい。総務省が刊行しているだけあって感想や意見は極力抑えられているが、逆にその淡々とした内容は、読み手が考察し、思考するよう促しているかのようである。この本には掲載されていない例であるが、新潟県のある青年会議所で「雪合戦」で街おこしをしているのを知っている。もう10年以上も取り組んでいるそうである。しっかりとルールをつくり、「スポーツ雪合戦」として日本全国の観光目的の団体を取り込んで、雪になじみのない人達を相手に一定の集客を成功させているとのこと。おもしろいのは当時、北海道のある街でも同じような企画があったことである。「我こそがスポーツ雪合戦の元祖である」とお互いの街をライバル視して昼のワイドショーに「スポーツ雪合戦の元祖を争う2つの街」として紹介されていた。計画的なのか偶然か微妙なところだが、わざと争うことで全国的な話題をつくり、双方の街が利益していた訳である。

我が松阪市も合併後の調整や駅前再開発などで劇的な変化を経験しようとしている。全国の地域活性化の取り組みやアイデアを参考に、これからの松阪市についてじっくりと考えることが必要ではなからうか。



作ろうみんなの 書籍の森

閲覧図書三重県一を 私たちと一緒に 目指しませんか?

この森は皆様のお力添えで大きく育っていきます。

本棚に眠っているNPO、NGO、ボランティア、まちづくりに関する書籍を寄贈していただけるようでしたら松阪市市民活動センターまでご連絡下さい。ご寄贈いただきました書籍は大切に扱い、他の団体の方々をはじめ、一般利用の方々の貴重な情報源となります。

「AROMA」第6号の文字訂正とお詫び 4ページ「書籍の森」の寄贈者の記載に誤りがありました。【誤】フェアトレード松阪 大北雄也様 【正】フェアトレード松阪 大北雄也様 訂正し、ご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

市民が創る市民活動の情報紙ーアロマ

AROMA

A Resident Of Matsusaka Activity

No.7

発行...松阪市市民活動センター 目次 インターシップの学生さんを受け入れました...1 ちょっと気になる団体...2...

センター初!! インターシップの 学生さんを受け入れました

皇學館大学 社会福祉学部社会福祉学科 2年生の山田元信さん 人当たりも良く とってもさわやか好青年... 登録団体リサーチ奮闘中 市民活動って奥が深いなあ... ちょっと一息 センターホームページの スタッフ日記(ブログ)書き込み中

学生が企業等において実習・研修的な就業体験をする制度、いわゆるインターシップ。当センターでも皇學館大学の学生さんを受け入れました。関わった充実感、達成感を得てもらえるよう試行錯誤したスケジュールを組み「センター登録団体のリサーチ」や「活動団体取材体験」等、より実践的で内容の濃い研修プログラムを目標に実施しました。

読者のみなさまへ 登録団体からのお知らせ



三重FPフォーラム2006 IN 松阪

◎無料ライブプランセミナー 講師:赤堀 薫里 ※託児所あり(要予約)締切日10月31日(火) ◎FP(ファイナンシャル・プランナー)による無料個別相談会同時開催 ※先着順 18名(要予約)締切日10月31日(火) 日時:2006年11月5日(日) 13:30~15:00 場所:松阪市産業振興センター3F お問合せ:NPO法人日本ファイナンシャル・プランナーズ協会三重支部

交通事故撲滅市民大会

◎『なくそう交通事故を市民の力で!!』 内容:松阪市は、慢性的な交通事故多発地域です。この不名誉を払拭するために、交通事故撲滅市民大会を開催します。 基調講演:『輝いて生きるために』キャスター・リポーター 東海林 のり子 入場無料:参加者全員に反射ネックストラップ プレゼント 日時:2006年10月21日(土) 13:00~(12:30開場) 場所:松阪市民文化会館 主催/お問合せ:松阪市自治会連合会 TEL&FAX 0598-22-3507

市民が創る市民活動の情報紙ーアロマ AROMA 次回発行は12月上旬です。

募集・イベント・事業案内など、共有したい情報をお持ちの方は、「アロマ掲載希望」の件名で「タイトル・趣旨・内容・日時・場所・問合せ先」などをご記入の上、松阪市市民活動センターまでE-mailかFAXにて送付してください。次回の原稿締切は2006年11月26日(日)です。 担当/澤・北西

松阪市市民活動センター 〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F 開館 月曜~土曜日/10:00~22:00

TEL 0598-26-0108 0598-25-3801 (予約専用) FAX 0598-25-3803 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

Table with columns: 会議室 (大会議室, 小会議室), 機材等 (印刷機, マイク), 利用申込 (申請書類, お電話)



松阪市市民活動センターホームページ http://www.city.matsusaka.mie.jp/kyodo/ 市民活動情報サイト http://genki365.net/genkm/customer/matsusaka/ 市民活動情報サイト(携帯版) http://genki365.net/genkm/i/

ちょっと気になる 団体



玉洋さんの作品。カラーでお見せできないのが残念。

喜びがあるようだ。基礎を知り、徐々に自分の個性を表現できるものになる。一層いけばなはの魅力は広がりを見せる。四季を通じて、様々な花材を選定するいけばなは、バラエティに富んだ作品が生まれる文化芸術。だからこそ常に自然を意識し、感性を磨く努力を怠ってはいけません。日本の伝統を受け継ぎ、後世を

日本の伝統芸術のひとつ、いけばな。様々な流派があり、流派ごとの特色がある。中でも、松阪市出身の堀口玉方が大正7年(1918年)に創流したのが「二葉流」である。その原点は、自然豊かな松阪にある「二葉流」の特色は、大正2年(1913年)に華道界に初めて「自由花」(※1)という総称と概念を与えたことにある。その意義、思いに共感し、いけばなを始めて60年になる北出玉洋さんは現在、二葉流三重中勢支部の代表を務める。後世を育てる立場でもあり、月一回当センターに5代目堀口昌流(※2)をお招きしての研究会が、とても楽しみと語る。家元を招く大切な時に会場をお借りできることは、大変ありがた



創流時、花岡に建てられた花塚(碑)は本居宣長記念館に移設され、県内の北勢、中勢、南勢の3支部が交代で清掃を受け持っている。来年5月には本居宣長記念館にて創流90年を祝う祭典が開催される。

育てる責任感と、今も変わらず学ぶ姿勢を持ち続ける玉洋さんは、とても物腰の柔らかい方で、語り口調には、いけばなで培われた独特なゆかしさがある。また、弛まぬ努力と経験から出る説得力のある言葉からは、芯のある筋の通った力強さを感じることができた。いけばなを始める人には「始めと終わりの挨拶から教える」として「自分に敵しく、他人に優しい思いやりの心」を養ってほしい。これは精神の発達と教育という観点から見ても人間形成の面で大きく貢献しているようだ。様々な物事が凄まじく早くて変わっていく時代だからこそ、日本伝統文化の継承は大変意義のあることではないだろうか。



二葉流三重中勢支部代表 北出玉洋さん

ブログ活用セミナーが開催されました

9月20日(水)、当センターにて「ブログ活用セミナー」を開催しました。定員の40名を越える方々にご参加いただき、人気度の高い講座となりました。この講座は「効果的に情報を発信したい」「ホームページを作りたいが難しそう」という皆さんに向けて、ブログの活用を紹介しました。ご存知の方も多いでしょうがブログとは日記風サイト「weblog(ウェブログ)」を略したホームページの形式の一種です。専門知識がなくてもページが出来る上関わりやすさと、新しい記事が順番に表示される読みやすさなどが人気の理由と言われています。パソコン初級者の皆さんにはブログの説明や作り方を、中級者以上の皆さんには効果的な作成のコツなどを紹介しました。この講座は名古屋の市民フォーラム21・NPOセンターが主体となり実施しました。IT関連の講座は専門用語が多く出てきますが、プロジェクターの投影画面を見ながら、解りやすく説明がありました。「効果的なPRをしたい」という悩みは市民活動センターも同じ。いい勉強になりました。講師の言葉ですが「告知のための作業時間をブログを活用して減らし、別の作業に充てるだけでも団体として効果が出る」とのこと。なるほど…。

セミナー終了後は引き続き「ITなんでも相談会」を行いました。こちらはITにまつわる疑問や悩みを個別に相談できました。専門書で調べるよりも、詳しい方に尋ねるほうが早いですよね。相談会の満足度も高かったようです。皆さんご参加ありがとうございました!

「広報」の第2弾として「広報力アップ講座」を開催します。

センターからのお知らせ

もっと身近に情報発信

アンテナ掲示板をご活用ください!



ボランティア募集に! 物品の循環に!

以前行ったアンケートで『ボランティアを求める人と行なう人の橋渡しをしてほしい』という声にお応えして、ついに掲示板が完成しました。その名も「アンテナ掲示板」人だけに限らず、物品やアイデアのやり取りも可能です。『ボランティア募集』や『こんな物あります』など(発信者)の情報を専用用紙に記入して掲示板に貼っておけば、見た人(受信者)から連絡をもらえる仕組み。この掲示板がアンテナのように中継地点の役割を果たします。皆様の声から生まれた掲示板を是非ご活用ください。

センター長の独り言

当センターは、駅が近いことも特徴のひとつです。この立地を活かし、「祭りや商店街活性化」と「市民活動」の運動も検討していきたいです。皆様、ご協力ください!

ブログ強化月間『センタースタッフってどんな人?』

センターも情報発信にブログを活用しています。「ブログ活用セミナー」を受け、今月は【ブログ強化月間】「センタースタッフってどんな人?」を実施中。市民活動にまつわる話やスタッフのこぼれ話などを書き込んでいます。みなさんどうぞアクセスしてください。

アドレスはこちら → <http://blog.goo.ne.jp/a96356/>

広報力アップ講座

とき 10月28日(日) 19:00~20:30

ところ 松阪市市民活動センター 大会議室

内容 ▶ 新聞に記事が掲載されやすくなるコツ 効果的なチラシづくり

参加費 ▶ 300円

講師 ▶ (株)夕刊三重新聞社
・山下至 代表取締役社長 ・古屋武之 営業部次長

締切 ▶ 10月25日(水) ※定員になり次第締切です。

申込方法 ▶ 「広報力アップ講座参加希望」の件名で、氏名、住所、電話番号、Fax番号、団体名(活動中の団体があれば)をご記入の上、E-mailかFaxでお申込ください。

お問合せ ▶ 松阪市市民活動センター(担当:米山)
TEL:0598-26-0108 FAX:0598-25-3803
E-mail:katsudou@ma.mctv.ne.jp
▼詳しくは、ホームページをご覧ください。
<http://www.city.matsusaka.mie.jp/kyodo/>

- 【対象者】どなたでも応募できます。(NPO関係者以外の方も大歓迎)
- 【応募方法】メールで送信ください。
- 【件名】「NPO川柳」にて記入の上、左記を送信ください。
- ① 句(未発表作品に限ります。複数応募可)
- ② 氏名(雅号、筆名でも可)
- ③ 住所、電話番号
- 【宛先】katsudou@ma.mctv.ne.jp
- 【締切】平成18年11月26日必着
- 【発表】次号の「AROMA」と市民活動センターホームページに
- 賞は何もありませんが、想いや願いを川柳で楽しく伝えて交流しましょう!
- ※作品の著作権並びに作品に発生するすべての権利は松阪市市民活動センターに帰属するものといたします。
- ※応募多数の場合はすべてを掲載できない場合があります。

事業報告



子ども達と伝統音楽の出会い

本紙AROMAの取材から立ち上がった企画「親子で楽しむ琴合奏」は、講師を“箏らぶそでい”が務め、夏休み中の親子約40名が参加した。会場には大きな琴が十数面並び、海上の波や船のような壮観な図。ある姉妹は入るなり「おお」と息を呑んだ。子供達にとって『伝統音楽』を聞くだけでなく、演奏を体験し、慣れない楽器に挑戦する保護者の姿を見ることも、良い経験だったかもしれない。琴は初めてだという男の子が「楽しかった。次はいつ?」と尋ねた。敷居が高いから人が集まらないかも、と心配していた講師も「いつでも遊びに来てね」と笑顔で応えていた。

市民活動に「いつ」を考える

前回募集した『市民活動リポーター』から新しく生まれた企画です。根本を振り返るテーマを先駆者の立場から執筆していただきました。

市民活動の黎明

工下太郎

市民活動が日本で、これほどまで広がる事は、かつて誰が予想したでしょうか。少なくとも、二十年くらい前までは、活動としての実体はあっても、その活動が市民活動なんだと意識して行動していた人々は、数が少なかつたと思います。今思えば、昔からある市民活動の代表的なものに、自治会や隣組といった、地域単位での相互扶助のしくみがあり、地域での「かかわり」の中で、助けあって、地域社会が築かれてきました。行政に対する依存の度合いも、今より少なかつた様な気がします。

しかし、社会構造の変化にともない、地域での「かかわり」が希薄になってきた事で、従来の地域自治組織も昔の様に機能しなくなってきたのも事実であり、その分行政に対する依存度も高くなってきた感があります。

高度成長時代は、それでも良かったのかもかもしれませんが、バブルがはじけ、地方分権が叫ばれますと、再び人々の目は地域に向けられました。

その時、気付いてみると、都会への一極集中は進んでおり、地方から都会への人口流出は進んでいました。

おまけに、高齢化の社会に突入しており、地域での「かかわり」が希薄になっていった現状で昔の様な相互扶助のしくみが、再び構築する事が容易ではなくなっていました。

そこで、自らの手で目的を持って、社会の問題点の解決や、未来への理想を求めて、様々なジャンルごとに活動する市民団体が多く立ち上がり、市民活動が盛んに展開される様になりました。

別の側面から見ると、昔に比べて、政治や行政に関心を持つ人が多くなり、現状を知った上で、あまり政治や行政に頼ってはいけないと思う人が多くなったのかもしれない。

いずれにせよ、出来る事は自らの手で、と思う人が多くなりつつあり、行政とパートナーシップで役割分担をする時代になったのは事実です。

さて、これから市民活動を考えるのテーマで、連載をさせていただきます。今回綴った事を心まえて、次回からは、今後の市民活動に求められる事を、考えていきたいと思っております。ご意見、ご感想、ご要望、ご指摘。

団体アピールショップ

「団体アピールショップ」の運営方法について

皆様にご利用、ご協力いただきました市民活動の「PR・資金づくり・交流」のお店『団体アピールショップ』は、いただいたご意見やデータを元に、9月末を節目とし、固定の店舗でのPR活動を終了致しました。今後は運営スタイルを見直し、機動性のある新しいPR活動へと移行してまいります。祭りやイベントでお目にかかりました際には、引き続きご利用ください。誠にありがとうございました。 団体アピールショップ部会

今後の展開が楽しみなNPO川柳。それでは第2回は「まりはまり」

思いやり NPOが 届けます



世の中に、どれだけ物が溢れようと『思いやり』は買うことのできない心の贈り物ですね。

ボランティア 松阪で

地元を愛する気持ちが伝わります。こうしたご要望にお応えするアンテナ掲示板を是非ご利用ください。

どこかしら 私が力 出せる分野

出力120% 17分野に分けられる特定非営利活動、120%と言わず200%で輝ける分野がきっとあるはずですよ。

NPO川柳 引き続き募集中

NPO、ボランティア、市民活動にまつわる出来事や日頃の想いを「NPO川柳」の17首で自由に楽しんでください。

【募集内容】「NPO川柳」ボランティア、「市民活動」に関する川柳を自由に

【対象者】どなたでも応募できます。(NPO関係者以外の方も大歓迎)

【応募方法】メールで送信ください。

【件名】「NPO川柳」にて記入の上、左記を送信ください。

① 句(未発表作品に限ります。複数応募可)

② 氏名(雅号、筆名でも可)

③ 住所、電話番号

【宛先】katsudou@ma.mctv.ne.jp

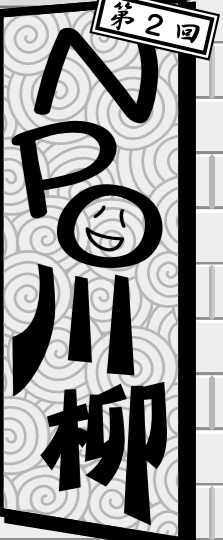
【締切】平成18年11月26日必着

【発表】次号の「AROMA」と市民活動センターホームページに

賞は何もありませんが、想いや願いを川柳で楽しく伝えて交流しましょう!

※作品の著作権並びに作品に発生するすべての権利は松阪市市民活動センターに帰属するものといたします。

※応募多数の場合はすべてを掲載できない場合があります。



負けじと副センター長も独り言

“名馬 道を知る”市民活動団体さんにとって“名馬”となるよう勉強します。おとこ…スタッフは全員若いですよ! 未脚はディーブインバド級!!